

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月26日

（あて先）奈良市長

提出者

住 所 奈良県大和高田市東雲町13-4

氏 名 株式会社トーマ 代表取締役 当麻和重

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0745-52-6671



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5条の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称	株式会社トーマ 都祁工場
事業場の所在地	奈良市蘭生町1139-1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

日本標準産業分類の区分
12 木材・木製品製造業

② 事業の規模

製造品等出荷額 等
（令和5年度） 29億円

③ 従業員数

92人

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

排出される産業廃棄物等、委託処理業者に委託し、処分。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

製造部、各生産課からの作業工程



都祁管理課（産業廃棄物管理担当、都祁管理課長）



都祁工場長（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b) 廃プラスチック類
排 出 量	1 0 7 0 . 9 3 t	2 2 . 4 2 t
産業廃棄物の種類	(c) 金属くず	(d) ガラスくず
排 出 量	2 . 0 7 t	5 . 3 8 t

（これまでに実施した取組）
木くずの一部、有償化検討
廃プラスチック類の分別、有償化

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b) 廃プラスチック類
排 出 量	1 0 0 0 t	2 0 t
産業廃棄物の種類	(c) 金属くず	(d) ガラスくず
排 出 量	2 t	5 t

（今後実施する予定の取組）
木くずの一部、有償化、業者の選定（継続）

廃プラスチック類（ストレッチフィルム、有償化取組実施、継続）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類を分別し、処理業者で委託処理している。
廃プラスチック類、一部有償化の状況。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類を可能な限り、再生利用者へ処理委託を
行い最終処分量の低減をはかる。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(a)	(b)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(a)	(b)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はない		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	1064.15 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1054.39 t	t
	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 現状維持		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1000 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	990 t	t

(第4面)

	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(a)	(b)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(a)	(b)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	(c)	(d)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b) 廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	1 6 . 5 4 t	2 2 . 4 2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	6 . 7 8 t	2 2 . 4 2 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	6 . 7 8 t	2 2 . 4 2 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t

(第5面)

		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		産業廃棄物の種類	(c) 金属くず	(d) ガラスくず
		全 処 理 委 託 量	2.07t	5.38t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2.07t	5.38t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	2.07t	5.38t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) 再生利用業者への処理委託を行う。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	(a) 木くず	(b) 廃プラスチック類
②計画		全 処 理 委 託 量	15t	20t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5t	20t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	5t	20t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		産業廃棄物の種類	(c) 金属くず	(d) ガラスくず
		全 処 理 委 託 量	2t	5t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2t	5t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	2t	5t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 委託処理業者には定期的に現地確認をする。		

収 受 印	※	備 考	※	事 業 所 番 号	※
-------------	---	--------	---	-----------------------	---

※ 欄には何も記入しないこと

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量等が下記のものについて事業場ごとに1枚作成すること。
 - (1) 前年度の産業廃棄物総発生量が500トン以上の事業場
 - (2) 資本金が4千万円以上で建設業を営むもの
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第3号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が5以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	株式会社トーマ	都祁工場	担当者氏名	吉田 順彦
報告者所属部署	総務部		電話番号	0745-52-6671 (本社)

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)			(第3面)			(第4面)		(第4～5面)				
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	(委託先の区分ごとの処理委託量)			認定業者以外の熱回収業者
1 木くず	前年実績	1,070.93t		1,064.15t	1,054.39t		-1,047.61t	6.78t	6.78t					
	計画	1,000.00t		1,000.00t	990.00t		-990.00t	5.00t	5.00t					
2 廃プラスチック類	前年実績	22.42t					22.42t	22.42t	22.42t					
	計画	20.00t					20.00t	20.00t	20.00t					
3 金属くず	前年実績	2.07t					2.07t	2.07t	2.07t					
	計画	2.00t					2.00t	2.00t	2.00t					
4 ガラスくず	前年実績	5.38t					5.38t	5.38t	5.38t					
	計画	5.00t					5.00t	5.00t	5.00t					
5	前年実績													
	計画													
6	前年実績													
	計画													
7	前年実績													
	計画													
8	前年実績													
	計画													
9	前年実績													
	計画													
10	前年実績													
	計画													

(別紙)